

令和6年(暦年)修学旅行入込状況調査結果について

令和6年(暦年)の沖縄修学旅行の入込実績

【校数】2,049校(対前年+118校、+6.1%)

【人数】351,937人(対前年+10,557人、+3.1%)

～校数、人数ともに順調に増加し、回復傾向～

1 調査の概要

(目的)

沖縄県への修学旅行入込状況を把握し、今後の修学旅行の誘致及び受入体制の充実に資するとともに、観光行政の基礎資料とすることを目的とする。

(調査対象期間)

令和6年1月1日から令和6年12月31日まで

(調査の方法)

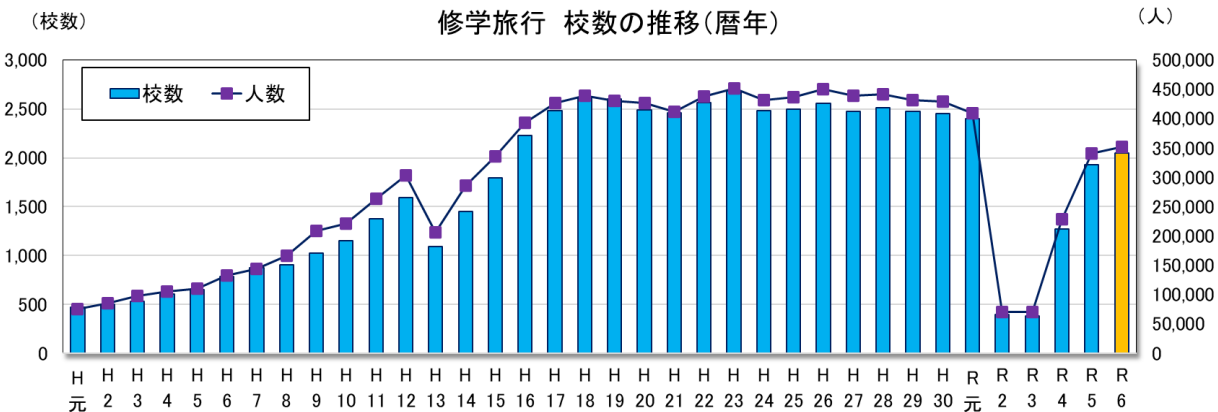
沖縄県への修学旅行取扱旅行会社から、月毎の受入校数(校種別)、人数、学校所在都道府県、宿泊地、滞在日数が把握できる取扱実績データの提供を受け、集計した。

※ この調査は、修学旅行の取扱実績を有する旅行社からの提供資料を取りまとめたものであり、全数調査ではないことに留意

2 調査結果の概要

(1) 推移【暦年】

沖縄県への修学旅行入込数は、平成17年に初めて40万人を突破し、平成23年には東日本大震災による旅行先の振替の影響もあり、校数、人数ともに過去最高となった。その後は、概ね横ばいで推移していたが、令和2年及び3年は新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により大幅に減少した。令和6年は、令和5年に引き続き増加傾向であり、年間の実績は2,049校、351,937人となった。なお、コロナ禍前の令和元年に対しては、校数は85.4%、人数は86.0%となった。



(2) 令和6年の校種別内訳

校種別でみると、校数では高校が66.9%、中学校が31.4%となっている。人数では、高校が75.1%、中学校が24.4%と、高校と中学校で人数の99.4%を占めている。

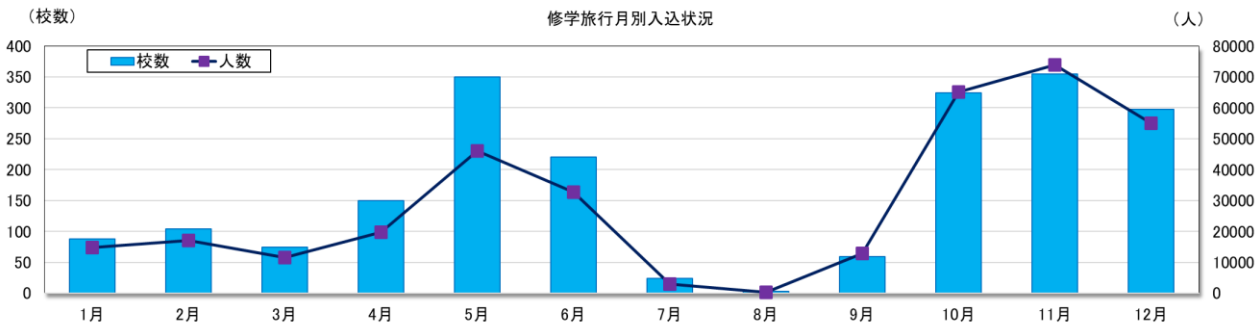
(令和6年実績 修学旅行入込校数・人数)

|      | 校数    |        |         | 人数      |        |         |
|------|-------|--------|---------|---------|--------|---------|
|      | (校)   | 構成比    | 対前年比    | (人)     | 構成比    | 対前年比    |
| 小学校  | 25    | 1.2%   | 56.3%   | 1,175   | 0.3%   | 31.3%   |
| 中学校  | 643   | 31.4%  | 22.0%   | 85,736  | 24.4%  | 26.5%   |
| 高校   | 1,371 | 66.9%  | ▲0.4%   | 264,193 | 75.1%  | ▲2.8%   |
| 専門学校 | 9     | 0.4%   | 12.5%   | 824     | 0.2%   | 17.4%   |
| 大学   | 0     | 0.0%   | ▲100.0% | 0       | 0.0%   | ▲100.0% |
| その他  | 1     | 0.0%   | ▲50.0%  | 9       | 0.0%   | ▲93.5%  |
| 合計   | 2,049 | 100.0% | 6.1%    | 351,937 | 100.0% | 3.1%    |

※構成比は小数点第2以下を四捨五入しているため、合計しても100%とはならない。

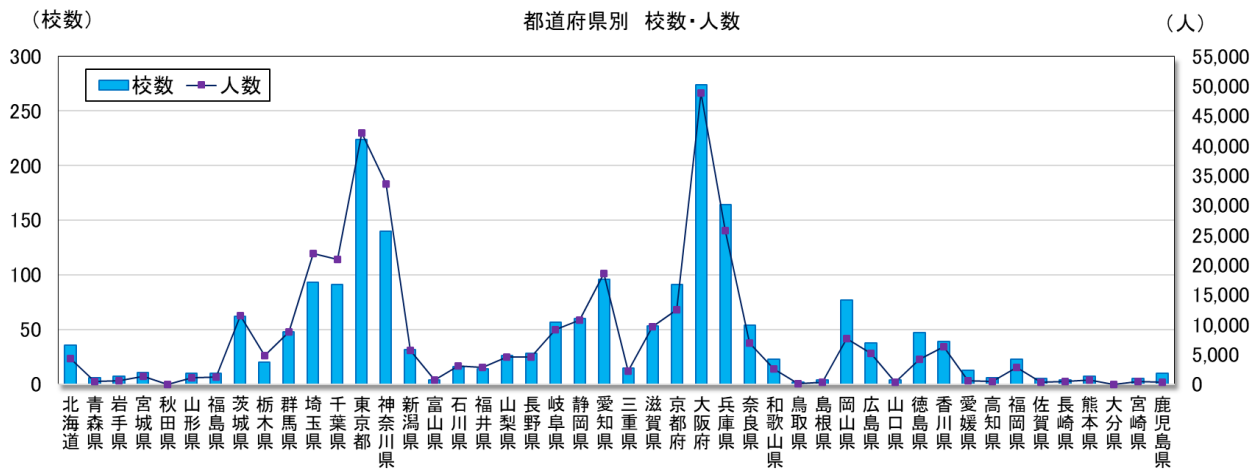
(3) 令和6年の月別入込状況

沖縄県への修学旅行の月別入込状況は、5月～6月及び10月～12月に集中しており、特に11月は校数・人数ともに最多となっている。



(4) 令和6年の発地(都道府県)別入込状況

沖縄県への修学旅行の発地をみると、校数・人数は大阪府が最も多く、次いで、東京都となっている。



(本件に関する問合せ先)  
沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課  
電話 098-866-2763 (担当 嶺井)